

本日、136名の皆さんをお送りすることになりました。長い間、本当にご苦労様でした。心からお礼を申し上げます。

皆さんの多くが県職員になられた昭和50年代前半は、オイルショックなどの影響を受け、日本経済はこれまでの高度成長から安定成長へと移行し、産業構造の変化が起こり始めた時期でありました。

そうした中、島根県におきましては、道路、鉄道、空港などの交通基盤の整備や、豊かな自然や古き歴史を生かした文化の振興、教育の振興や医療の充実など様々な施策が進められてきました。

一方で、この間、多くの災害もありました。

昭和58年、60年、63年の集中豪雨、平成12年の地震、平成18年に出雲地域、平成19年の隠岐地域の豪雨災害がありました。近年では鳥インフルエンザや雪害にも見舞われました。また、一昨年には県西部の大雨災害がありました。

皆さんは、こうした災害復旧を始め、県の抱える多くの諸課題にも全力を挙げて取り組んでこられました。

皆さんのそうしたご努力に対しまして、改めて、深く感謝の意を表する次第です。そしてまた、皆さんを支えてこられたご家族の方々にも心からお礼申し上げます。

さて、皆さんの多くは、これからは日々の仕事を離れ、それぞれの時間を過ごされることと思います。人生における大きな仕事を成し遂げられたところですので、これまでの疲れをゆっくりととっていただきたいと思います。

島根では元気な高齢者の方々が地域社会の中で活躍しておられます。皆さんは高齢者の域に達するまで、まだまだ時間があります。10年から20年かかるのではないかと思います。今後、地域社会の中で中心となって活躍されることが期待されます。地域の方々が皆さんを離してくれないのではないかと思います。

今後も引き続き、これまで培われた見識や経験をもとに、様々な面から県の地域の発展、島根のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

終わりに、皆さんの今後のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、挨拶いたします。本当に長い間、ありがとうございました。